

市民と市政をつなぐ 確かな「かけ橋」

定例議会で、
毎回質問



市政の一步が国を動かす

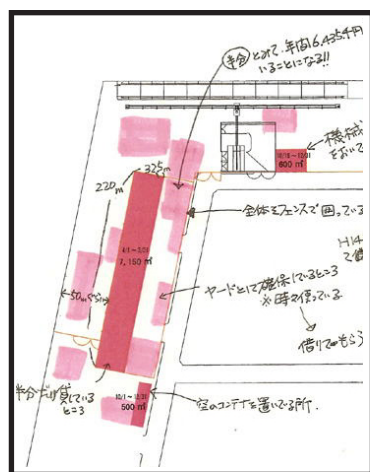
1期目のとき、市に小中学生から国民健康保険証を取り上げることをやめさせました。この取り組みが全国でも広がり、『中卒までは国保証の取り上げを禁じる』法改正ができました。保険証がなくて病院にかからない子どもをなくすことに近づけました。

質問では、昭和中央土地区画整理組合や舌辛川、海光団地の建て替えなども取りあげました。すべての定例議会(本会議)で必ず質問をしているのは西部・阿寒・音別地域では私1人です。

不正は許さない

釧路有数の港湾会社

賃借契約をしている土地の倍以上の西港市有地を無断で占有していることをつきとめ、厳しく追求して、賃借料を2倍に改めさせました。



議会に示した調査資料
これが動かぬ証拠に

政務調査費

自民・大地系会派が政務調査費での沖縄視察で領収書を偽造。代表質問で市長に刑事告発するよう迫りました。「不適切」とは答弁しましたが告発まではいたりませんでした。



雇用では

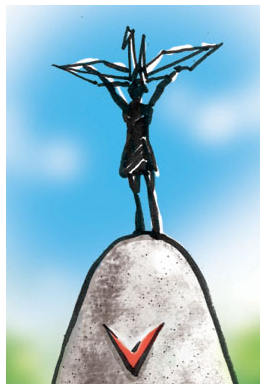


介護施設で働きながら、ヘルパー2級の資格も取れる雇用政策を提案して、2年度9名が資格を取りました。これからは、介護福祉士コースへの拡大も検討されています。

市の臨時職員の採用枠の拡大も強く求めています。

村上かずしげ「自分を語る」

広島市の平和公園の「原爆の子の像」、8月6日に生まれた娘に、妻はこれにちなんだ名前をつけました。娘は、今年初めて広島を訪ね、この像と対面しました。娘の胸に両親の平和の思いはどんな風に映ったのでしょうか。



妻が亡くなって14年。父親一人の子育てはとても誉められた代物ではありませんが、子どもの成長が私を支えています。そんなこともあってか、議会では子どものこと、福祉のことに、つつい力が入ります。



<私のお約束>

ぬくもり助成金や保育料の市の独自軽減策を守り抜きます。
国保料を1万円引き下げます。
公住と特養建設、学校の耐震化を進めます。
住宅リフォーム助成をつくります。
漁業と酪農を発展させ、雇用をふやします。

1959(昭和34)年、岩手県生まれ5歳。弘前大学人文学部卒、日本旅行勤務、民主青年同盟釧路地区委員長を経て市長選(2回)と総選挙に立候補。2001(平成13)年、釧路市議に初当選、現在2期目。

くしろ民報

2011年1.2月号外

発行 日本共産党釧路地区委員会
釧路市住之江町 10-1 22-6121

日本共産党釧路地区委員会は
次の政策を発表しました。